

社会体育の振興について

下郷町教育委員会



一、はじめに

下郷町は、国道百二十一号線、国鉄会津滝の原線に沿った、南会津の玄関口に当たり、人口一万二千二百二十七人（五十三年四月一日現在）の山村地帯である。主な産業は、米と葉タバコを中心とした農業と林業経営で、近年縫製工場の進出により、就労婦人の増加が著しい。

本町は、昭和三十年、檜原町、旭田村、江川村の一町二か村が合併して現在の下郷町となった。合併当時一万四千九百七十九人の人口が、ここ十二年間で、約五千人の減少をみた過疎地で

表1 昭和53年度下郷町スポーツ大会

番号	大会名	大会内容	参加対象	備考
1	ミニテニストーナメント大会		小中高生 一般家族	
2	町民武道大会	柔道 剣道 空手	小中高生 一般	
3	バレーボール大会	6人制	一般 年2回	
4	卓球大会	職場クラブ対抗	一般	
5	県民スポーツ大会町予選	卓球 ソフトボール 家庭バレーボール サッカー	一般	
6	少年少女球技大会	ソフトボール キックソフトボール	郡学供会 一般	3地区 大会
7	婦人バレーボール大会	家庭バレーボール	婦人 一般	
8	野球大会		一般	
9	ソフトボール大会		一般	
10	町民サイクリング大会		小中高生 一般	
11	知事杯 家庭バレーボール大会		婦人 一般	
12	町民スキー大会		小中高生 一般	
13	バドミントン大会	職場クラブ対抗	一般	
14	ヤングレクリエーション大会	レクリエーション スポーツ	青年男女 一般	



町民運動会

ある。特に、青少年の減少と流出が著しく、若者を定着させる魅力ある町づくり、ふるさとづくりの社会教育、社会体育の施策が重要課題となる。

二、社会体育重点施策

五十三年度の本町社会体育の重点施策は、(一)町民総参加のスポーツの振興 (二)スポーツ年間賞制度の推進と定着 (三)スポーツ教室の拡充 (四)スポーツ少年団の育成 (五)スポーツ指導者の養成の五項目である。ここでは、原稿枚数の都合上、(一)と(二)について述べてみたい。

(一) 町民総参加のスポーツの振興
さきに述べたとおり、本町は一町二か村の合併町村であり、地区的には、檜原地区・旭田地区・江川地区の三地

区に分かれている。三地区別のスポーツ行事は、(二)のスポーツ年間賞制度の項で詳述するとして、ここでは、町一本のスポーツ行事のみをとりあげる。本年度のスポーツ大会・スポーツ教室は表1・2のとおりである。これらの大会、教室は、町一本の行事のため、

表2 昭和53年度下郷町スポーツ教室

番号	教室名	参加対象	回数	時間数	備考
1	フットボール教室	青年男女	2	4日	
2	ソフトボール審判技術講習会	一般	1	5日	
3	卓球教室	一 中高生 一般	2	10日	
4	軽スポーツと体力づくり教室	社老年男女	2	6日	
5	親子と子の幼児と	その保護者	2	6日	
6	親子と子の幼児と	その保護者	2	6日	
7	レクリエーション教室	小学児童と その保護者	2	6日	
8	少年水泳教室	小学生	5	10日	日帰りの山行
9	少年剣道教室	小中学生	5	5日	
10	ソフトボール教室	一般	1	5日	
11	バレーボール教室	青年男女	5	10日	六人制
12	スキー教室	小中高生 一般	3	10日	
13	家庭バレーボール教室	婦人	5	10日	
14	少年バドミントン教室	小中学生	5	15日	
15	体力診断テスト	一般			常時開設
16	ウエイトレニング				
17	サイキットトレーニング				
18	バドミントン教室				
19	各種スポーツ指導				